

あかるいまち 21

No.1655 2024年5月31日
組合員活動推進課 082-532-1264

	5月	2024年度
組合員ふやし	105人	230人
出資金ふやし	1,206万円	2,148万円
純増	232万円	232万円

『見ると聞くでは大違い！の看多機見学』 ～田方支部～

4月26日（金）、優遊班の18名がオープン直前の看護小規模多機能型居宅介護支援事業所「あんしんセンター コープ五日市」を訪問しました。参加希望者が多く、関心の高さが伺えました。くつを脱いで裸足で畳敷の広いダイルームに上がり、まず最初に驚いたのは介護施設というより、自宅にいるようなくつろげる場所でした。そこでこの施設建設の元となった、奈良県あすなら苑で実践されているケアの様子を視聴した後、3つのグループに分かれて、まちづくり推進課職員の東さんにゆっくり施設内を案内していただきました。最初にビデオ学習を受けていたので生協10の基本ケアがどんなに素晴らしい実践かが、一つ一つの説明によって更に理解できた気がしました。皆さん自分事として真剣に説明を受けておられました。



施設内には手すりが全くありませんでした。個室やお風呂、トイレには幅広のテーブルが設置されていて、足で踏ん張って立ち座りをします。日常生活では1日40回立ち座りをするので、自然にリハビリになるそうです。これらは「生協10の基本ケア®」の一つで、職員の都合で行う介護ではなく、利用者の都合に合わせる介護とのお話でした。デイケアは病院内のリハビリとは違う方法で、毎日の生活の中で個人の残存力職員が寄り添いながらゆっくり時間をかけてリハビリができます。今まで失っていた機能が一つ一つ復活して動けるようになると笑顔が出て、生きる力になるそうです。この施設を利用して、生協10のケアで本人もご家族も笑顔が取り戻せたらいいな！と思いました。見学の後はどなたでも交流ができる「サロンえにし」のお部屋で淹れたてのコーヒーを頂きながら質疑応答の予定でしたが、残念ながら時間オーバーとなりました。しかし看多機特別増資の訴えには多くの方が応えて下さいました。最後に職員と五日市南支部担当理事から、この施設は組合員の共有財産ですから、どうぞいらして下さい！とのご挨拶を頂きお別れをしました。

皆さんの感想は「来月お弁当を持ってサロンに行こう！」「足の裏への刺激が全身のリハビリになる。前かがみで食事するほうが誤嚥性肺炎の予防になるなど、今すぐ役に立つ知識を得た有意義な



会だった」「触ったり、座ったり、湯船に座る体験もできたので非常に良かった」「職員の仕事部屋からダイルームの様子が見える設計になっていて素晴らしい」「介護の在り方が進化していたので、学習は大切と感じた」「増資を考えたい」「もっと詳しい学習会を企画して欲しい」などの要望もありました。

行政の決まりで区外の私達は利用が出来ませんが、生協10の基本ケアの実践をもっと多くの方にご理解いただけるよう、これからも訪問を継続したいと思います。

田方支部 優遊班